

東北大学災害科学国際研究所
2022 年度 レジリエンス共創研究報告会
- 第 83 回 IRIDeS オープンフォーラム (旧 金曜フォーラム) -

災害レジリエンス共創センターでは、「災害レジリエンス数量化」、「ヒューマンレジリエンス」、「災害情報キュレーション」、および「災害レジリエンス共創」の4つの重点研究領域を構成し、新たに構築する「災害デジタルツイン」での災害過程の分析を通じて、被災した社会が速やかに回復するための方策や、一人ひとりの多様な幸せ (well-being) を実現するための総合知を探求する研究に取り組んでいます。

本会では、昨年度に「災害レジリエンス共創研究プロジェクト」として実施された、災害科学国際研究所と学内外の研究機関との共同研究による成果と、防災科学技術研究所との共同研究の成果について下記の要領で報告いたします。

1. 日時：2023年7月22日(土) 9:00 ~ 16:30

2. 会場 (オンライン) Web 会議場 [Zoom]

ホール A：ホール A_2022 年度レジリエンス共創研究報告会

URL： ウェブページよりお申込みの方へ別途連絡いたします。

ホール B：ホール B_2022 年度レジリエンス共創研究報告会

URL： ウェブページよりお申込みの方へ別途連絡いたします。

3. プログラム

8:30	開 場
9:00-09:10	開会の挨拶 (センター長：江川 新一, ホール A)
9:10-11:20	[共同研究]口頭発表 (午前の部, ホール A：6 件, ホール B：3 件)
11:20-12:20	昼 休 憩
12:20-16:20	[共同研究]口頭発表 (午後の部, ホール A：11 件, ホール B：8 件)
16:20-16:30	閉会の挨拶 (所長：栗山 進一, ホール A)

東北大学災害科学国際研究所 2022年度レジリエンス共創研究報告会

ホールA

Zoom会場A

1人あたり20分（発表 13分，質疑応答5分，準備2分）

セッションA：午前（1）			災害デジタルツインの開発に関連する研究	司会者：永田 彰平（災害レジリエンス共創センター）	
ID	時間帯	発表課題名	発表者（所属先）	所内共同研究者	
A-1	9:10	9:30	災害デジタルツイン実現に向けた調査研究	撫佐 昭裕（東北大学 サイバーサイエンスセンター）	越村 俊一（災害ジオインフォマティクス研究分野）
A-2	9:30	9:50	日本海溝型地震に伴う津波のリアルタイムリスク評価	高瀬 慎介（八戸工業大学 大学院工学研究科）	越村 俊一（災害ジオインフォマティクス研究分野）
A-3	9:50	10:10	人口動態把握と予測のための人流デジタルツインの開発	マス エリック（東北大学 災害科学国際研究所）	越村 俊一（災害ジオインフォマティクス研究分野）

10:10 10:20 休憩

セッションA：午前（2）			人流データを活用した社会動態の解明に関する研究	司会者：齋藤 玲（認知科学研究分野）	
ID	時間帯	発表課題名	発表者（所属先）	所内共同研究者	
A-4	10:20	10:40	長期化したCOVID-19パンデミックによる心理的影響に関する地域特性の検討	奥山 純子（東北大学 リハビリテーション科）	門廻 充待（津波工学研究分野） （現：秋田大学 新学部設置準備担当）
A-5	10:40	11:00	人流データの時系列変動分解に基づく災害レジリエンス情報の検出と比較	山口 裕通（金沢大学 地球社会基盤学系）	奥村 誠（レジリエンス計画研究分野）
A-6	11:00	11:20	モバイル空間統計を活用した集客施設別の混雑と遊休に関する分析	塚井 誠人（広島大学大学院 先進理工系科学研究科）	奥村 誠（レジリエンス計画研究分野）

11:20 12:20 昼休憩

セッションA：午後（1）			災害情報キュレーション研究領域	司会者：川内 淳史（歴史文化遺産保全学分野）	
ID	時間帯	発表課題名	発表者（所属先）	所内共同研究者	
A-7	12:20	12:40	復興期の沿岸部空間形成過程の体系化にむけて	井内 加奈子（東北大学 災害科学国際研究所）	井内 加奈子（レジリエンス計画研究分野）
A-8	12:40	13:00	デジタル時代における震災アーカイブのマルチモーダル化の実装と認知的科学的評価	齋藤 玲（東北大学 災害科学国際研究所）	齋藤 玲（認知科学研究分野）
A-9	13:00	13:20	地域自然災害アーカイブのためのプラットフォームの構築	小山 真紀（岐阜大学 流域圏科学センター）	柴山 明寛（災害文化アーカイブ研究分野）
A-10	13:20	13:40	災害時における文化遺産救済を目的とした文化遺産マップの構築および活用に関する研究	鈴木 比奈子（栗駒山麓ジオパーク推進協議会）	蝦名 裕一（災害文化アーカイブ研究分野）

13:40 13:50 休憩

セッションA：午後（2）			災害レジリエンス数値化研究領域	司会者：マス エリック（災害ジオインフォマティクス研究分野）	
ID	時間帯	発表課題名	発表者（所属先）	所内共同研究者	
A-11	13:50	14:10	道路ネットワークのレジリエンス強化に向けた橋梁の合理的な地震対策決定プロセスの構築	石橋 寛樹（日本大学 工学部 土木工学科）	越村 俊一（災害ジオインフォマティクス研究分野）
A-12	14:10	14:30	建築構造物における制振レトロフィットの功罪	鈴木 敦詞（東北大学大学院 工学研究科 都市・建築学専攻）	大野 晋（地震工学研究分野）
A-13	14:30	14:50	江戸時代と現代の町の豪雨災害リスクと居住空間特性の評価	鈴木 温（名城大学 理工学部社会基盤デザイン工学科）	森口 周二（計算安全工学研究分野）
A-14	14:50	15:10	降雨流出氾濫解析と簡易型河川監視カメラ画像解析を用いたリアルタイム浸水予測の高度化	橋本 雅和（関西大学 環境都市工学部 都市システム工学科）	橋本 雅和（災害ジオインフォマティクス研究分野） （現：関西大学 環境都市工学部 都市システム工学科）

15:10 15:20 休憩

セッションA：午後（3）			東北大学－防災科研マッチング研究	司会者：江川 新一（災害医療国際協力学分野）	
ID	時間帯	発表課題名	発表者（所属先）	防災科研・東北大側共同研究者	
A-15	15:20	15:40	防災教育研究等、防災基礎力の向上に関する研究	佐藤 健（東北大学 災害科学国際研究所）	李 泰榮（災害過程研究部門）
A-16	15:40	16:00	災害レジリエンス評価指標の実証的検証に関するシステムティック・レビュー	塩崎 由人（防災科学技術研究所 災害過程研究部門）	奥村 誠（東北大学災害科学国際研究所）
A-17	16:00	16:20	災害対応デジタルツイン	越村 俊一（東北大学 災害科学国際研究所）	臼田 裕一郎（防災情報研究部門）

ホールB (ホールBでの発表は、10:20から15:10までとなります)

Zoom会場B

1人あたり20分(発表13分, 質疑応答5分, 準備2分)

セッションB: 午前 (1)				
ID	時間帯	発表課題名	発表者 (所属先)	所内共同研究者
	9:10	9:30		
	9:30	9:50		
	9:50	10:10		

セッションB: 午前 (2)					
ID	時間帯	発表課題名	発表者 (所属先)	所内共同研究者	
		災害レジリエンス共創領域	司会者: 佐々木 大輔 (2030国際防災アジェンダ推進オフィス)		
B-1	10:20	10:40	住民間の「知」の循環による「地域脱炭素」推進過程での総合的レジリエンス向上の試み : 長崎県五島列島を事例に	原 裕太 (東北大学 災害科学国際研究所)	原 裕太 (2030国際防災アジェンダ推進オフィス)
B-2	10:40	11:00	千島海溝の巨大地震津波対策を支える災害総合知の創出	高橋 浩晃 (北海道大学 理学研究院)	福島 洋 (陸域地震学・火山学研究分野)
B-3	11:00	11:20	気象災害時における時空間周遊行動動態に基づく災害リスク評価	崔 善鏡 (東京工業大学 環境・社会理工学院融合理工学系)	奥村 誠 (レジリエンス計画研究分野)
	11:20	12:20	昼休憩		

セッションB: 午後 (1)					
ID	時間帯	発表課題名	発表者 (所属先)	所内共同研究者	
		災害レジリエンス共創領域	司会者: 佐々木 大輔 (2030国際防災アジェンダ推進オフィス)		
B-4	12:20	12:40	南海トラフ地震臨時情報発表時における地域コミュニティ対応計画作成支援に関する研究	野々村 敦子 (香川大学 創造工学部)	福島 洋 (陸域地震学・火山学研究分野)
B-5	12:40	13:00	Web GISを活用した学校教員向けリスクコミュニケーション手法の高度化 ~学区の災害リスクの理解に基づく実践的な避難計画の社会実装に向けて~	桜井 愛子 (東洋英和女学院大学 国際社会学部)	佐藤 健 (防災教育実践学分野)
B-6	13:00	13:20	「仙台防災枠組」進捗レビューの先駆的試み; 仙台市との協働・実践を通じて	原 裕太 (東北大学 災害科学国際研究所)	原 裕太 (2030国際防災アジェンダ推進オフィス)
B-7	13:20	13:40	新型コロナウイルス感染症クラスター再発防止対策: CO2濃度を指標とした換気調査 ~特に保育施設、介護施設について~	喜多村 紘子 (産業医科大学 産業医実務研修センター)	千田 浩一 (災害放射線医学分野)
	13:40	13:50	休憩		

セッションB: 午後 (2)					
ID	時間帯	発表課題名	発表者 (所属先)	所内共同研究者	
		ヒューマンレジリエンス研究領域	司会者: 佐々木 宏之 (災害医療国際協力学分野)		
B-8	13:50	14:10	産官学協創による災害発生後の長期間経過時点での持続的な心理支援の検討	奥山 純子 (東北大学 リハビリテーション科)	門廻 充侍 (津波工学研究分野) (現: 秋田大学 新学部設置準備担当)
B-9	14:10	14:30	災害レジリエンス構築に資する避難所医療ニーズの数量化	越智 小枝 (東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座)	江川 新一 (災害医療国際協力学分野)
B-10	14:30	14:50	放射線被ばくによる抗酸化能の低下と晩期障害の関係	孫 略 (産総研 健康医学研究部門)	千田 浩一 (災害放射線医学分野)
B-11	14:50	15:10	染色体異常を指標とした原子力災害時の健康影響におけるレジリエンス	三浦 富智 (弘前大学 被ばく医療総合研究所)	千田 浩一 (災害放射線医学分野)